

キャリア・コンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成 27 年 9 月 7 日

2 級受検番号 NO 05S3510032 氏 名 高田 康子

1 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか ・ 4 月上旬より。

どのような内容を、どの程度行ったか

- ・まずはノートを作り、過去の論述の問題（第 1 回より）時間をはかり解答を記入することから始めました。
- ・「1 級キャリア・コンサルティング技能士の会」の「2 級技能士対策講座」に 4 回参加。
- ・職場の上司にお願いして、今回受験する方 1 名と一緒に私のロールプレイを 2 回見ていただきました。

準備に対する振り返り

- ・論述では、対策講座で学んだ「具体策の考え方」を常に意識して解答作成練習を繰り返し、解答案を作成しました。
- ・面接では、実技（面接）試験対策講座の「本番 5 ケース体験」に 2 回参加したことが大変勉強になりました。1 回目の「本番 5 ケース体験」参加後に 5 ケースを表にして、相談内容、CL 人物像、CL の問題、CC 視点の問題、目標、方策の項目を作成し記入。
2 回目参加後にも追記しました。（いろんなパターンの CL を考えました）

これから受検する人へのアドバイス

- ・私は、面接試験では「2 級技能士対策講座」で学んだ、プロセス（気持ちを外さず傾聴→要約→方策・実行→目標設定）を大事にしました。
- ・面接対策講座の講師の方々やロールプレイを見ていただいた方からの、評価を真摯に受け止め、自身の強み弱みを知り修正するべきところは修正するように心がけることだと思います。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日： 7 月 18 日 午前 午後

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

- ・論述試験が終わってから、気持ちを切り替えるため少し時間が必要と感じたので、論述試験と面接試験の間をあけるようにしました。

試験会場： 東京 大阪

試験官の性別： 男性 1 人、女性 1 人

事例番号： 1 2 3 4 5

ロールプレイの時間：ロールプレイ 20 分のうち 20 分程度

口頭試問の時間：10 分のうち 6 分程度

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	時間配分を意識しなかったため、時計がよく見える位置にあるか確認した。
② 基本的態度	CC として、CL の言葉、態度に集中し、適切な支援ができるよう終始意識した。
③ 関係構築	最初の 10 分は傾聴に徹し、受容的な態度で CL が話しやすい雰囲気になるよう心がけた。
④ 問題把握	時計で 10 分たったことを確認して、「今までお聞かせいただいたお話を、整理させていただきますと・・・」と要約を入れ、「・・・ということでしょうか」と CL に確認をした。CL から「そうです」と言われたので方針に進んだ。
⑤ 具体的展開	CL の問題を共有できたと感じたので、苦手な面接練習がどうしても上手いか等、いくつか提案。また、次回の相談までに、自身の強み等をシートに書き出してみたらどうかとも提案。面談が早く進み時間があつたので「今日はお話をしていかがでしたか」と最後に聞いた。
⑥ 口頭試問の内容と回答	今の面談を振り返って、良かった点、改善点の質問があり、改善点では面接が解決に早く進みすぎた点があつたので、CL の気持ちをもう少しじっくりお聞きすればよかったとお答えした。 主訴・CC 視点の問題点の質問があり、この後どう進めるかとの回答では、今後、何を大事にしてどうしたいのか共に考え、問題を整理することを提案。また業界・職種及び多岐にわたる社会福祉士の仕事についても情報を提供し、場合によっては、アセスメントツール等も使用し、苦手な面接練習もしていく支援をしたい、とお答えした。
これから受検する人へのアドバイス	
面接試験では、自分が今 CC であり自己一致できていることを意識し、何より面接対策講座で学んだ「プロセス」を大事にすることだと思います。 また面接対策講座で事前にロールプレイを何度も経験できたことで、自身のできていないところを知ることができました。そして録音したテープを何度も聞き、修正するよう心がけました。 またロールプレイを指導していただいた方々の、的確なアドバイスをしっかり受け止めることが大事だと感じています。多くの方に感謝する気持ちを忘れず、試験に臨んでください。	